

いっちゃん 通信

生産者だって、生活者。

農業政策

1,111億円を緊急追加

- 自民党コメ緊急対策により、34万トンの政府買い入れを実施しました。
- 小規模・高齢農家でも品目横断的経営安定対策に加入できるようになりました。
- 集落営農の要件を緩和しました。

燃油対策

102億円の対策予算

- 燃油対策新基金が大幅に積み増しとなりました。
- 漁業者が確実に受けられるよう、以前より手続きが簡単になりました。

昨年、国会対策委員会副委員長として全ての法案に携わり、その後、外務副大臣を拝命しました。

国会対策委員会とは党の役職で、法案の審議日程や可否決など党の方針を決める機関です。党内の対立する意見を集約する場面あり、野党と交渉する場面あり、いわば国会運営の裏方と言うべき役職です。さらに、国会が空転すれば対応策に追われ、会期中は一日中席を離れることができませんでしたが貴重な経験をさせていただきました。

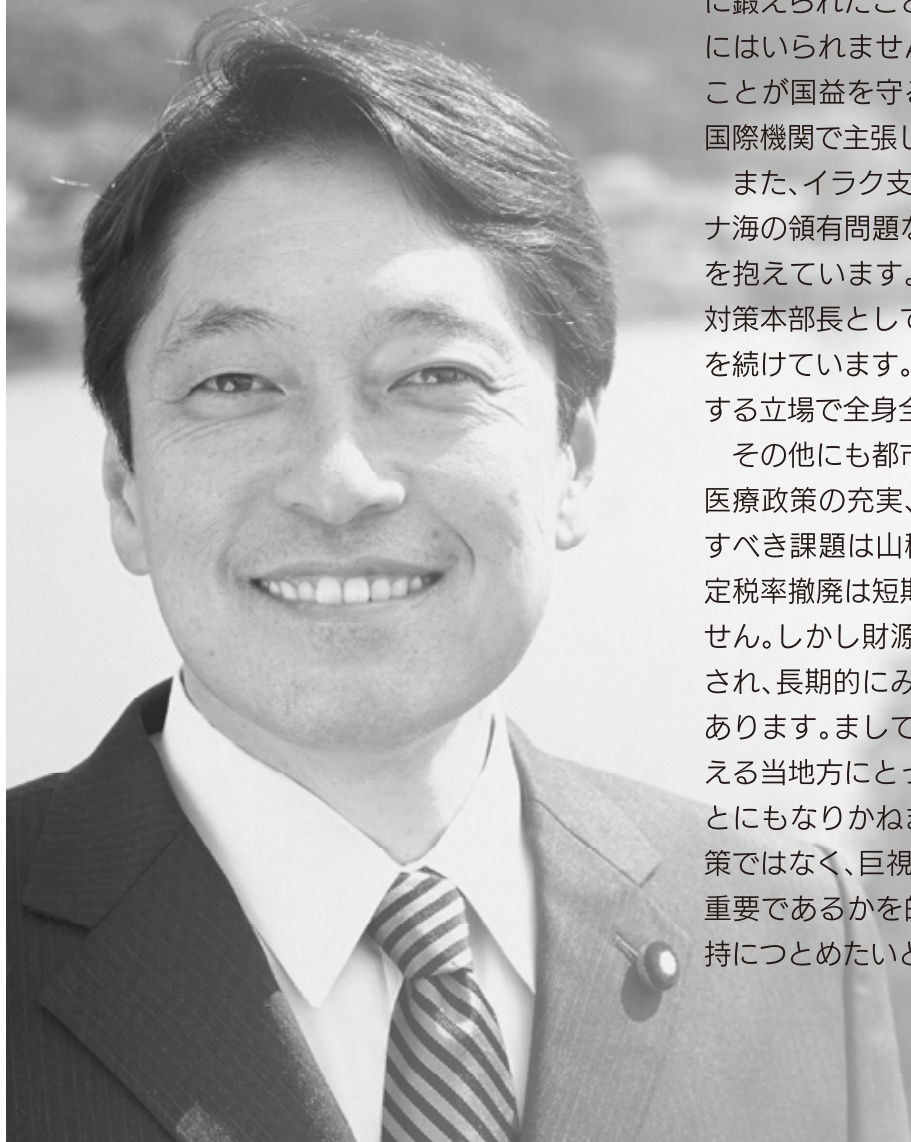
そして、地域の最重要関心であるWTO農産物交渉や国際漁業規制問題は外務と密接に関わっています。どの国をみても農林水産業は国の礎として位置づけられ、それだけに各国の利害がもろにぶつかるわけです。その中で国益を最大限に守る立場で交渉しつつ、各国が納得する国際ルールをつくる、外務の役割はそこにあります。特にWTO農産物交渉では、地域の主要産業と国益を守るという両面の立場で交渉にのぞんでいます。おかげさまで現場を歩き、皆様に鍛えられたことが今につながっていると感謝せずにはられません。今後も農林水産業を守り育てることが国益を守ることに通じるとの思いで、国会や国際機関で主張してまいります。

また、イラク支援、北朝鮮問題、米軍基地再編、東シナ海の領有問題など国の根幹にかかわる最重要課題を抱えています。さらにイラン邦人誘拐事件の緊急対策本部長として早期解決の突破口となるべく交渉を続けています。これらの課題に対し、国益を最優先する立場で全身全霊をかけて取り組む所存です。

その他にも都市と地方の地域間格差の是正、福祉・医療政策の充実、教育制度の見直しなど政治が果たすべき課題は山積しています。特にガソリン税の暫定税率撤廃は短期的な景気刺激策に有効かもしれませんが、しかし財源不足による道路の着工延期が懸念され、長期的にみれば国力の衰退につながる恐れがあります。ましてや三陸道など未整備区間を多く抱える当地方にとっては今までの熱意が水泡に帰すことにもなりかねません。党利党略や選挙のための政策ではなく、巨視的に、そしてふるさとにとって何が重要であるかを的確に判断しながら、道路財源の維持につとめたいと考えています。

外務副大臣・衆議院議員

小野寺 五典





テレビ朝日系『TVタックル』にて。

国会にいるだけが仕事じゃない
テレビに出るだけが仕事じゃない

いっちゃん、動く。

小野寺五典のしごと

2006-2007

「親子三代が暮らせる地域づくり」を理念に掲げ、おかげさまで地元の様々な課題解決をお手伝いするだけでなく、日本政府の立場としても活動させていただくようになりました。政治は待たなし、いつでも課題は山積しています。その一つひとつを着実に解決すべく、小野寺五典は動き続けます。



衆議院予算委員会にて質問に立つ。

第一次産業は国家の礎！ 農林水産対策



枕地整地に四苦八苦

知り合いの圃場をお借りして、短時間ですが枕地整地に挑戦。きめ細かい手入れを施す生産者の皆さんに敬意を表したいと本人談。



トレーサビリティ、自ら確かめる

東京・芝食肉市場にて。宮城県北産の肉がどのような経路で流通しているのか、値段はいくらかなど現状を把握するために月1回程度視察しています。



燃油高騰、何とかせねば！

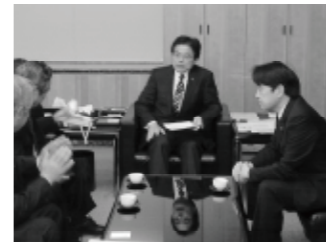
農林水産業にとって燃油高騰は死活問題であると農水省も理解しています。だからこそ生産者が確実に受けられる燃油対策を打ち出すよう、村井知事とともに農水省へ要請しました。

きめ細やかに。 地域振興



トヨタ自動車・張会長と

仙台北部第二工業団地に移転が決まったセントラル自動車の親会社、トヨタ自動車の張富士夫会長と懇談。今後宮城県内では、自動車関連産業の集積が期待され、地元にもその経済効果が及ぶよう努めています。



地方交付税減らすな

疲弊した地方をさらに弱くすることは国力の低下にもつながるとの思いで、地元の首長と地方交付税の維持を増田総務大臣へ要請しました。



現場を知らずに国会で語れない

政策や要望を実現するには、何よりも現場を詳しく知ることが先決。2006年10月、爆弾低気圧で甚大な被害を受けた南三陸町の養殖いかだを視察。その後、政府に強力に働きかけ激甚災害制度の厳しい指定基準が緩和されました。



風評被害の発信元に厳しく抗議

2006年、ノロウイルスが猛威をふるった際、カキが風評被害に遭う。その発信元はなんと厚労省の食品安全局。ホームページで発症数が著しく少ないカキを例に挙げたことに對し、生産者・販売者に代わって厳重に抗議。即時削除と報道機関へ訂正報道を行うよう強く求めました。

いつもアクセル全開！ 地域インフラ整備



シーズンに間に合わなければ意味なし

鬼首地区の観光資源であるスキー場。土砂崩れで今シーズンの営業が危ぶまれていたところを、早急に改修するよう関係各署に働きかけ、オープンに間に合いました。



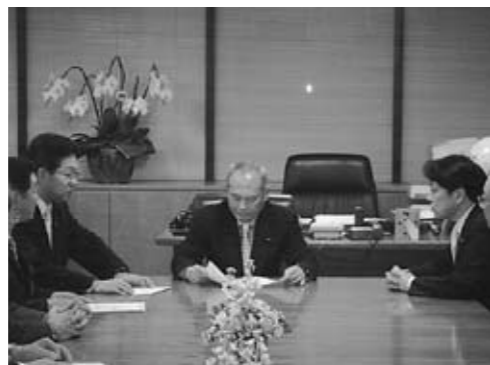
花淵山バイパスの早期完成を目指す！

2007年2月、鳴子温泉大畑で発生した国道108号線の土砂崩れで鬼首地区は陸の孤島に。これでは安心な暮らしはできません。生活と救急に必要な道路は国の責任でつくるよう、今後も強く働きかけていきます。



迅速な対応を海上保安庁へ求める

女川沖での第七千代丸の救助に謝意を示しつつ、海難に縦割りでない迅速な対応を要請しました。



医師不足解消を樹添厚労大臣へ直訴

地域に最も深刻な医師不足を解消すべく、登米市長らと樹添厚生労働大臣へ直訴しました。



築館バイパス一部開通

地元の皆さんの熱意が実り、昨年末開通しました。今後も地元首長はじめ県議市議の皆さんと連携して頑張ります。



国交省谷口技監へ要望

毎年、リアスハイウェイ女性の集いの皆さんと三陸道の早期着工を要望。その他、首長や議員とも頻りに要望継続中です。



河川改修、いち早く！

豪雨時、住民に不安を抱かせる迫川、夏川、旧北上川の増水。地元から要望をいただき、整備着手できるよう努めています。



GPS波浪計、唐桑沖へ

前回選挙でお約束したGPS波浪計が年内に唐桑沖へ設置、詳細な津波情報による防災が期待されます。(写真は釜石沖)

PICK UP!

外務副大臣の一日

5:30
起床

6:20
宿舎を徒歩で出発

6:45
外務省着

7:00~8:40
委員会答弁打合せ

9:00~12:00
衆議院外務委員会

12:00~12:50
昼食&打合せ

13:00
本会議

14:00~17:00
衆議院外務委員会

18:00
副大臣主催・海外閣僚との懇親会

21:30~23:00
若手議員との政策勉強会

23:30
帰宅

0:30
就寝



最初、警備員は副大臣が歩いて来るとは思わず、不審者扱いされそうになったことも。

外務大臣、副大臣とで当日の外務委員会の答弁の打合せ。

外務大臣と交代で答弁。その合間をぬって、海外要人と会談。

昼食をとりながら外務大臣と午後の答弁の打合せ。

世界各国から訪れる政府要人や閣僚と夕食を交えて懇談。

夜は若手議員で集まって、政策の勉強会を開いています。

海外公務

米国第5艦隊司令官コスグリ中将与海上自衛隊の補給活動について協議
(2007.9.20・バーレーン)



給油活動で海外に派遣された自衛隊員を激励
(2007.9.20・バーレーン)



欧州、米国、旧ソ連諸国など58カ国が加盟する欧州安保協力機構閣僚理事会(OSCE外相会議)で、日本のステートメント(声明書)を発表。
(2007.11.29
スペイン・マドリッド)



いっちゃん、働く。

小野寺五典、もっと働きます。

(1) 第一次産業への取り組み

農業政策

- 米価あがる** ————— 党のコメ緊急対策により34万トンの政府買い入れを実施。また全農などは飼料処理10万トンを予定。これにより、コメ市場では全ての銘柄の価格が上がっています。
- 生産調整500億円** ————— 20年のコメ生産調整拡大分について、これまでの実施者は10アールあたり5万円、新たな参加者は10アールあたり3万円の一時金を作付前に踏切料として支給することとします。
- 飼料米・バイオ米導入** ————— 20年の生産調整拡大の手法として、飼料米・バイオ米を大幅に導入。作付前に踏切料として10アールあたり5万円の一時金を支給。地域の判断により産地づくり交付金の対象となります。
- 生産調整に行政も一体** ————— 20年からの生産調整は、国・都道府県・市町村の関与を認め、農業団体と一体となって推進することとします。
- 面積要件は市町村特認創設** ————— 20年からは「地域水田農業ビジョン」に位置づけられ、市町村が認めた認定農業者や集落営農であれば、小規模・高齢農家でも品目横断的経営安定対策に加入できるようになりました。
- 認定農業者の年齢制限撤廃** ————— 一部市町村での年齢制限(65才)は廃止または弾力的にします。
- 集落営農の要件緩和** ————— 5年以内に農業生産法人にするという要件は、弾力的に取り扱うことにします。
- 小麦、テンサイなどの増収支援** ————— 「面積単価」(基準単収)の関係で小麦の増収分が手取りに反映されていない産地を支援します。なお、19年度補正予算で対応します。

燃油高騰対策

- 燃油対策基金を102億円に積み増し**
漁業経営体質強化対策や小規模漁業者に配慮した基金になります。
- 強い水産業づくり交付金補助率アップ**
燃油タンクの整備など流通効率化を支援します。
- 漁業用A重油、船舶用軽油にかかる税の免税**
支出に占める燃油費の割合を減らせるよう、免税措置が継続されます。

対策はまだまだ不十分であり、今後も実効性のある農業支援・燃油対策を実現できるよう働きかけ続ける所存です。



自民党農業基本政策小委員会には欠かさず出席し、地元の現状を訴え、実効性のある農業政策を要望しました。今回の緊急対策ではまだ手ぬるく、今後も引き続き訴えてまいります。
(写真：福田総理と堀内前総務会長と農業現場を視察)

(2) 三陸道など地域インフラ整備への取り組み

道路の中期計画について国の素案が提示されました。おかげさまで地域で要望する道路はすべて「整備が必要」との方針が示され、さらに三陸道については順調に延伸し、岩手県境までの整備促進にはずみがつきました。これも皆さんの熱意が実を結んだ結果であり、たゆまぬ運動が奏功したのだと思います。選出の国会議員としてたいへん光栄であり、今後もアクセル全開で働きかけていく所存です。



三陸道・桃生津山IC開通式にてテープカット直後、感極まって盟友の村井知事と握手。一日も早い全線開通を目指し、これからも二人三脚で強力に推進することを確認しました。

(3) 地域経済振興への取り組み

都市部選出と地方選出の議員とでは景気認識がまるで違います。もちろん産業構造が違うのですから当然ですが、地方はより深刻だと言えます。また地方でも自動車や精密機器工場を有するのとそのでないとはさらに開きがあります。その観点では、昨年末のセントラル自動車の大衡村進出は地域経済に新しい裾野を生み出す起爆剤になると期待しています。このチャンスを活かし、誘致に尽力した村井知事はじめ県と連携を深めながら、地域経済振興へ取り組んでいきたいと考えています。

衆議院議員

小野寺 五典

気仙沼・本吉事務所

登米事務所

気仙沼市港町502-2

TEL:0226-21-3030 FAX:21-3031

登米市迫町佐沼中江1-10-4 中江第一ビル2階1号室

TEL:0220-22-6354 FAX:22-6454

栗原・玉造事務所

国会事務所

栗原市築館字留場桜町19-1

TEL:0228-21-2271 FAX:21-2261

東京都千代田区永田町2-1-2衆議院第一議員会館432号室

TEL:03-3508-7432 FAX:3508-3912